

わたがし機取り扱い説明書

わたがし機は故障しやすいので、次のことを守ってください。

ザラメは、茶色のものより白色のものを用意してください。1.5 ~ 2.0 m/m角が最適。(茶色のものは、目詰まりの原因となります。)

【使いはじめる時】

- 1 安定の良い台、または机の上に置くこと。
- 2 電源は直接コンセントより取ること。たこ足配線にしないこと。
(コード延長の場合は15A容量のものを使用のこと、上記以下のコードを使用しますとコード自体が発熱します。)
- 3 スイッチを入れると赤色のパイロットランプが点灯し、ホッパー部が回転すると同時に内部ヒーターが発熱します。
- 4 コントロール目盛を5にし、スイッチを入れてから1分間空転させ、ザラメを投入する。
ザラメが片寄ると振動の原因となり綿の出が低下するので平均して投入するよう注意する。
(ザラメは1.5 ~ 2.0 m/m角が最適。1回につき大さじ1杯程度。)
- 5 コントロール目盛は0 ~ 10の間で綿の出の良い箇所で使用する。
- 6 2 ~ 3回使用したら機械をすこし休ませる。

【使い終わったら】

- 1 コントロール目盛を10にして残ったザラメを全部出し、金網に砂糖がついていないようにすること。
回転部ホッパーは絶対に取り外さないこと。
- 2 ザラメを入れるように熱湯を入れ空転させる。これを数回繰り返す。
それでもきれいにならない場合は、電源を切り、5cm程お湯を洗面器などの容器に張り、わたがし機を逆さにして砂糖のついた金網部分のみを熱湯につける。すると砂糖が溶けてきれいになる。(重たいですがこの方法が一番きれいになります。)なお、その際にプロペラ下の配線部分は故障の原因になるので絶対に濡らさないこと。
- 3 おけ、プラスチックカバーはタオル等で拭き、べとつきを取り除く。